

同窓会に深い関心を 実社会にあっても交流の場に

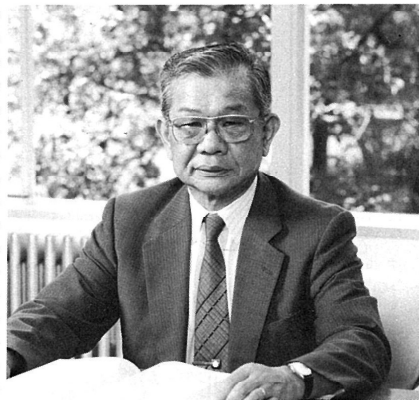
日本工業大学同窓会会長 高橋 康一



本日、日本工業大学第一十
一回のおめでたい「卒業式並
びに学位記授与式」にあたり
同窓生一万三千名を代表致
しまして皆さんのご祝辞を申
し上げます。これは、私の最上
の喜びとするところでありま
す。

皆さんは、ここに最高学府
の課程を修了され、めでたく
卒業の証書を得られました。
大学において「スタートした知
識や技術を、今後社会生活の
うに活用し、有為な人間と
なす。

しかしながら、大学課程に
おいて、皆さんがトレーニング
した論理的思考力、専門的
知識あるいは豊かな教養等
を総合的に発揮しつつ、指導
的立場に立つて、全体を判断
してゆく能力は、皆さんに期
待するところ大なるものがある。



諸君、工学部卒業、並びに
大学院修了おめでとう。本日、
学部において本学所定の課程
を修め、工学士を授与される
もの七十七名、また大学院工
学部修士課程において工学
修士の学位を得るものは二
十五名である。さらに、本日は
昭和六十二年四月に設置され
た博士課程(後期)より、本
学における工学博士第一号が
今年初の研究科委員会を経て
黒澤高行君に授与されること
となった。この事は本学にと
って非常に名誉なことである。
ここに皆様に御報告し、共に

卒業生への言葉 世界に貢献できる技術者に

学長 大川 陽康



発行所
日本工業大学
広報課
〒345 埼玉県南埼玉郡
宮代町学園台4-1-1
☎ 0480(34)4111

卒業 特集

そうであるように、本学にお
いて最初の工学博士の誕生を
見ることは、学園の長年の夢
であった。そして、私が本日
学長として、初任博士の
学位を授与できることは、私
の深く喜びとするところであ
る。

さて、昨年は世界が大きく
動いた一年間であった。一昨
年十二月のマルタにおける米
ソ首脳会談から始まった東西
冷戦構造の終焉に向けての動
きは、昨年九月十二日のドイ
ツ統一合意文書の調印から、
十月三日午前零時を期しての
ドイツ統一に於いて高潮に
達した。テレビの前の世界中
の人々は、歓喜するドイツの
人々の表情を眼の裏に留めて
いて、私同様胸を熱くしたに
違いない。このことは、戦後四
十五年間にわたるドイツ分断
の歴史の終りを告げると同時
に、ヨーロッパにおける真の
意味の戦後処理が終わったこ
とを意味している。統一の一瞬
間、我々は確かに大きな歴史
の転換に立ち会ったのである。
思いを禁じえなかったのは
私だけではない。

なもので色々な事が起き、色々
な経験をします。時勢も造
られてから、多くの「時」を
刻んできました。あの東京大
空襲に耐え、寒い日・暑い日・
雨風の強い日も、又幾多の喜
びや悲しみ、苦しみも。ど
んな時も、皆さん、東西南
北を向き逃げる事無、不動の
姿勢で今日まであります。

ソ連によるバレストロイカ
やグラスノフによって、今
までバールに包まれていた東
側の経済状態や工業水準が次
第に明らかになるにつれ、そ
れらが予想外に悪い状況であ
ることに西側世界はむしろ驚
いたと言っています。製造業を
中心とした工業水準は西側諸
国に比べて低く、中でも
比較的水準が高いと言われ
ていた元ドイツの工場が、西
側の工業製品に押され、失業者
が増加しているのも水山の一
角であると言える。また、東
ヨーロッパを中心とした産業
公害も酸性雨を中心として深
刻な状態にあり、地球という
同じ船に乗り合わせている我々
に無縁の問題ではない。こう
した東側世界を救うためには
西側の援助もさることながら
東側世界の自らの精神が大切
である。製造業を中心とし
た産業の自立を助けるのは、
西側世界の「員としての日本
も厭うものではない」とは言
うまでもない。

一方、世界が冷戦後の世界
像を模索する間もな起こと
は、イラクのクウェート侵攻は、
世界平和への道が平坦ではな
いことを世界に思い知らせた。
戦後世界を大きく二分してき
た米ソ超大国によるパワ
ーポリティクスは、逆説的
ではあるが、大きくバランスを崩
さず、戦後世界を四十
五年間支配してきた。しかし、
一方のソ連が国内経済の悪化
や民族問題により国際政治の
舞台から降り、ドイツは統一
によって東ドイツを抱え込む
ことになり、経済上の制約
から、当然、大きく後退を余
儀なくされるに到っている。
もう一方のアメリカはこの湾
岸戦争、自らのリーディング
ポスを強化する機会と捉え、ボ
スト冷戦の新秩序構築のモデ
ルケースを考えているようだ。
こうした冷戦後の世界を視野
に入れた状況のなかで、日本
の経済力・工業力が大きくク
ロースアップされているのは、
諸君もよく知る通りである。
このため、平成二年版の経
済白書は大きく一章を削いで
「プラザ合意以後日本経済を直
撃した円高による輸出不振を
乗り切るのは、日本企業の技
術力および技術開発力である
」としている。一国を支える産
業は、製造業を中心とした産
業であることは昔も今も変わ
りない。ただ、昔のイメージ
とは異なり、現在、生産機械
は「システム」と呼ぶにふさ
わしく、あらゆる技術の集約
化の所産である。そして、そ
れらを支えているのは、企業
における優秀な技術人である。
活発な技術開発および技術蓄
積である。ポスターレスと言わ
れ、お金や物が、小さくなっ
た世界をかくめる現在こそ、
良の良の作る技術力なくして
これからの世界を生残ること
とはできない。

一般入学試験実施される 臨時定員増によりシステム工学科の定員二百名に

平成三年度 一般入学試験が
二月十一、十二日の二日間に
わたって、本学を会場に行われ
た。二日間のうち一日目は機
械工学科ならびに電気電子工
学科が、二日目は建築学科お
よびシステム工学科の筆記試
験が実施された。

のふる里」といふべき、この
日本工業大学を中心とした同窓
の交わりを、親睦を高めて、
共に実社会に於いて活躍しう
るよう研鑽と力を集めるとな
っている同窓会に、皆さんも今
後、深い関心を持ち、諸行事
に参加していただきたいとい
うこと。

本日、栄えある皆さんの卒
業式並びに学位記授与式に際
しまして、今後の活躍をお祈
りするとともに心からの祝
辞を捧げます。

学 科	募集人員	受験方式	志願者数	合 計	合格者数	合 計
機 械 工 学 科	40名	A方式 B方式 留学生	901 (内女8) 29 (内女5)	935 (内女8)	109 (内女2) 2 (内女0)	111 (内女2)
電 気 電 子 工 学 科	40名	A方式 B方式 留学生	567 (内女9) 5 (内女2)	630 (内女11)	59 (内女1) 9 (内女3)	71 (内女1)
建 築 学 科	40名	A方式 B方式 留学生	537 (内女24) 15 (内女4)	586 (内女26)	54 (内女4) 12 (内女1)	70 (内女5)
シ ス テ ム 工 学 科	40名	A方式 B方式 留学生	395 (内女6) 70 (内女2)	467 (内女8)	69 (内女1) 17 (内女1)	87 (内女1)
合 計	160名		2,618 (内女53)		339 (内女9)	

機構工作センタ 主任 酒井
つてくれることを確信する
大学も支援を惜しまない。諸
君の健闘を期待する。



酒井助教授に工学博士授与
茂紀助教授に、平成三年一月
二十四日付で東京大学より工
学博士の学位が授与された。
授与の対象となした論文名は
「放電加工面の電解仕上げに
関する研究」である。

東京大学より
酒井助教授に工学博士授与
た鈴木昭正総務部長心得は
昭和十六年九月十一日生。昭
和三十五年東京工業高等学
校(現日本工業大学付属東京工
業高等学校)機械工学科卒業
昭和四十二年日本大学理工学
部卒業。昭和四十二年、機械
工学科主幹。昭和四十八年
学生課長。昭和五十五年、庶
務課長、現在に至っている。



鈴木昭正総務部長心得は
昭和十六年九月十一日生。昭
和三十五年東京工業高等学
校(現日本工業大学付属東京工
業高等学校)機械工学科卒業
昭和四十二年日本大学理工学
部卒業。昭和四十二年、機械
工学科主幹。昭和四十八年
学生課長。昭和五十五年、庶
務課長、現在に至っている。

鈴木昭正総務部長心得は
昭和十六年九月十一日生。昭
和三十五年東京工業高等学
校(現日本工業大学付属東京工
業高等学校)機械工学科卒業
昭和四十二年日本大学理工学
部卒業。昭和四十二年、機械
工学科主幹。昭和四十八年
学生課長。昭和五十五年、庶
務課長、現在に至っている。

決断の時代

機械工学科 玉木保



昨八月に始まったイラクのクウェート侵略は二月二十四日の多国軍の対ラク地上戦開始で最終局面を迎えている。本年卒業する諸君の周囲はこの四年間、東欧自由化も含めて激的に変化している。決断が迫られ、その決断の当否が問われるという時代と言ったことが出来る。本学の四年間は、この決断を自信を持って実行するための体力をつける場であったと言えよう。しかしながら明日は誰にとっても未知の時である。果敢な決断を躊躇せざるを得ない場合もある。その時には一人の自分を空想し、二人の間に距離をおき、互いに評価してみることであり、すぐれた自分、弱気な自分、ずばるな自分、弱気な自分を「所を得る」とい出す言葉に「所を得る」と

将来を見つめて、無地からの出発

建築学科 北後寿



人生における私達三大事業は、学校教育、社会貢献、そして家庭構築である。一般論として、学校教育は小学校入学から大学卒業までを意味し、社会貢献は就職から始まり、家庭構築は、当然ながら結婚して一家を構えることに発するものである。諸君は、今や第一の事業を終え、第二の事業にろうとしてゐる。今までは家庭や社会に手厚く庇護されるという立場にあった。これからこの

いう言葉がある。自分を適正に評価し、うぬばれず、かと言って卑下することなく、ことに対処することを意味していると思つてゐる。さて今一つ時代を象徴するものは「国際化」である。今は湾岸戦争の真只中であり、海外との取引も少なく、海外旅行者も激減しているとのことであるが、戦争の終結と共に「世界は一つ」の時代が始まるものと確信する。日本で評価された技術者は世界でも評価される。世界で認められない人間は国内においてのみ認められない。この国際化の時代を生きてゆくには異文化に対する許容性、あるいは異質なものの理解、異質なものと協同を模索すれば、様々な人々がその特性を生かし、それぞれに「所を得る」ことでもある。客観的な自分がたてられてゐる。かといって、いろいろな考えの人々と協調協力し、新しい時代の開拓者となつて欲しい。

分、優い自分、情熱家の自分、様々な自分を思い浮べ適切な決断を下すべきである。なぜならその決断に最も責任があるのは君自身だからである。適切な決断を重ねてゆく中で君の人間としての幅も拡がり、君は個性豊かな職業人、社会人として成長する。多くの諸君の先輩がそうであったように君もそうなるであろう。私が断を迫られた時に思ひ出す言葉に「所を得る」と

世に生を得て以来受けてきた、大なり小なりの恩恵を、人類社会に貢献する事によって還元していくようつとめねばなるまい。いきなりこんなことを言ひ出して、とんでもない責を負わせることになってしまった。しかし現実は大変厳しいのである。先日、ある新聞に「無地に勝るものなし」と題する小論が載っていた。実社会に初めて参入する学生は、いわば無地からの出発という位置にある。私はこれを皆様の門出を祝うにふさわしい言葉と無地である。新聞論調の無地は真白な用紙を用いた手帳を指している。その文章の一部を補足しながら紹介しよう。「自由になつて」という点で

各科主任教授よりの

卒業生への言葉

楽しい思い出を作ろう

システム工学科 石川博章



諸君、ご卒業おめでとうございます。大学生活四年間で身に付けた多くの知識を持つて、四月からはそれぞれの職場で、種々の仕事に頑張つて頂きたいと思ひます。大学を卒業して、新社会人となることは君達の人生にとっての大きな節目であります。会社での生活はきつと学生時代と異なり、戸惑うこと、辛いことも多いと思ひます。しかし、一方で仕事に熱心に取り組む、これらの障害を乗り越えることで、君達の将来に

職人気質

電気電子工学科 八田達



女優でシャボン歌手でもあった越路さんが亡くなってから十年が経つ。その当時テレビの番組や週刊誌の記事等が越路さんの追憶で埋められていた。私は無意味で日頃からテレビのドラマや歌謡番組にはまる関心がなく、まして越路さんのファンでも何でもないが、これらの記事を読んだら、これらは私たちが越路さんと殆ど同年であったためだろうか。

意に満ちた天真爛漫とした生涯を過ごすのであったが、その中で私に強い感銘を残した記事があった。それは越路さんがあるテレビ対談に出たときの様子を述べたもので、対談の相手は超絶な「芸術家」……と持ち上げられる。越路さんは一向にこれに乗る気配を見せず、自分のことを「芸人……芸人……」といながら対談を続けていたというのである。つくづく自分を顧みて、「芸人の最高峰は越路さんだ」と云ふならば自分は何者でもあつかう。差し詰め「職人」といふことだろうか。越路さんの芸術家の使命は美の表白ではなく、職人の使命は美の追求、主観的に判断されるものであろう。これに対し芸人の使命は客観・観衆を媚ませることと換言すれば社会の需要に即応することであり、芸人の価値は職人の価値（需要者）により客観的に判断されるものである。越路さんはファンと価値観を共にし、ファンと共に歩むことに強い誇りを抱いていたのではないだろうか。我々技術者の仕事も社会の需要を無視しては成り立たない。また技術の価値もいかに社会を満足させたかにより評価される。技術者の価値観を一方的に社会に強制しても相手がされない。また、技術者の活動が期限内、経済的な要求から多くの制約を受けることも宿命的である。私の研究を省みて、科学的に高貴な業績はさばり、無く、眼の前の一里塚を目指した地味な努力の積み重ねばかりである。問題解決の糸口を何となく掴んだあとは、粘り、注意力、経験の蓄積以外に頼るものはない。このように考えてくると、自分の職業を「学者」とか「研究者」とか呼ぶのが最も相応しい。新卒生諸君の頑張りにより期待したい。

試験前の徹夜の勉強、運動部の血の滲み出るような練習、失敗して先生に叱られたことなど、今無事に卒業式を迎えられた諸君にとっては、きつと楽しかった学生生活の「コマ」として、思い出されていくのではないだろうか。諸君たちには四月から新しい社会人としての生活が始まります。多分、現在の君達の心の中には将来の夢と、そして不安感が錯綜していることと思ひます。しかし、それも一年後にはきつと楽しい思い出に変わっていくことでしょう。さて、社会人として仕事を進める上で大切なことの二つを知ることによって、沢山の楽しい思い出になる出来事に出会ひ、豊かな人生を築き上げていくことを心から願ひ、卒業する諸君たちへの祝福の言葉を致します。

卒業研究(計画)一覧

■機械工学科

村川正夫研究室 (塑性加工)

長田重慶・伏見恒夫研究室 (機械加工)

(機械加工)

柳沢章研究室 (成形加工)

玉木 保・梅崎栄作研究室 (応用力学)

漆原富士夫・佐藤茂夫研究室 (金属材料)

岩瀬 勝・森正美研究室 (電気鉄道・電力応用)

廣瀬治男研究室 (電子通信工学・物性)

■電気電子工学科

松本正勝・横谷真一郎・渡辺高幸研究室 (流体工学)

☆ ☆ ☆

八田 達・日下部岱研究室 (電子技術)

(電子技術)

宮地邦夫・大久保勝弘・青木収研究室 (電気機器)

中道一郎・石川豊研究室 (電気材料・半導体プロセス)

町山宏弘・寺島幸雄研究室 (制御工学)

酒井茂紀・宮沢肇研究室 (特殊加工)

(特殊加工)

渡辺 寛・窪田英毅研究室 (設計工学Ⅱ)

(設計工学Ⅱ)

池田義雄・小倉勝研究室 (熱工学)

有賀幸則研究室 (機械要素)

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

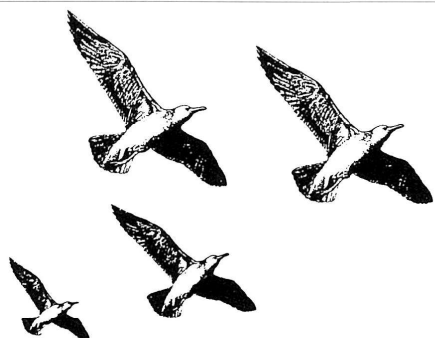
高橋肇夫研究室 （材料部品・計測・制御）		山口義昭研究室 （光通信・光電磁界論）		小林啓美研究室（地震工学）	
松田郁夫・丹羽次郎研究室 （情報工学・システム工学）		堀田勝喜研究室（電気材料）		難波恒夫研究室（建築構造）	
原田達哉・佐伯正盛研究室 （高電圧・放電現象）		片山茂友研究室（マイクロコン ピュータ応用・教育工学）		榎井武一研究室（環境工学・都 市設備・病院建築）	
渡部散研究室（生体情報処理）		泰野愈士研究室 （マイクロコンピュータ応用）		桑原文夫研究室（地盤工学）	
石田之則・高橋明遠研究室 （通信工学・光応用）		■ 建 築 学 科		伊藤庸一研究室 （建築・集落計画学）	
広瀬洋一研究室（電子物性）				波多野純研究室 （都市史・建築設計）	
		●平成元年度末掲載分			
		谷澤 茂研究室 （超音波・計測・電子回路）		宮坂修吉研究室 （建築計画・意匠）	
		北後 寿研究室 （耐震構造工学・構造計画）		堀口光敏研究室（電動応用）	
				高橋恒研究室（地域計画）	
				村口昌之研究室 （建築意匠・計画・設計）	
				高橋久雄研究室（材料・構造）	
				渡辺勝彦研究室 （建築史・建築設計）	

西山光昭研究室 (材料・構造)		高橋雅充研究室 (建築構造)		岩隈利雄研究室 (建築計画・農村計画)		小牟真一郎研究室 (環境工学)	
大岸文夫研究室 (建築計画・建築設計)		川村 清研究室 (建築材料・工芸)		福田成二研究室 (都市計画・地域計画)		石川博章研究室 (省エネルギーシステム)	
貴井光男研究室 (建築材料・海洋工学)		栗田昇 (光電物質)・中村洋一研究室 (画像電子材料)		システム工学科 ☆ ☆ ☆ ☆		野口卓也研究室 (電気磁気学・品質管理)	
長谷川汎研究室 (制御工学)		飯島道雄研究室 (情報技術)		鈴木敏正研究室 (電子材料工学)		三宅正二郎研究室 (表面工学)	
鈴木 清研究室 (先端素材加工学)		近藤通朗研究室 (情報数理科)		塚林 功研究室 (プラズマ)		竹内淳彦研究室 (工業地理学)	
鈴木康之研究室 (化学工学)		☆ ☆ ☆					
平成2年度		卒業生名簿		3月20日付 確定者			
機械工学科							

電
気
電
子
工
学
科

建
築
学
科

シ
ス
テ
ム
工
学
科



課程博士、第一号誕生

これによって、本学大学院工学研究科より課程博士第一号が誕生した。

本学大学院工学研究科博士課程(後期)建築学専攻の君より提出されていた学位請求論文に対し、去る一月十七日の研究科委員会において合格と判定され、同君に工学博士の学位が授与された。

「ネバールの王宮における中庭建築の復元的研究」と題される学位論文は、序論・本論四章・結論から構成されて

のことで、工学上貢献する

システム工学科鈴木敏正助教が、平成三年四月一日から一年間、国外研修のため米国カリフォルニア大学バークレイ校に滞在中です。研修を終るに先立ち、昨年十二月に滞在記をお願いしました。

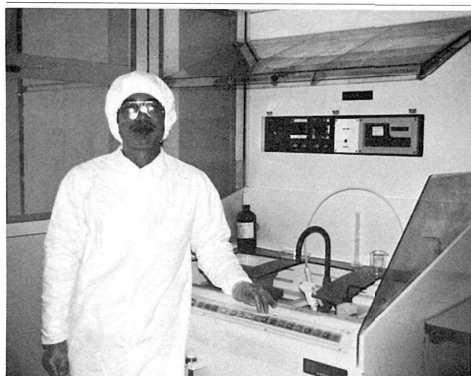
四月三日にカリフォルニア大学バークレイ校(UCLA)での一年間の研修のため当地サンフランシスコ近郊イーストベイエリアに来て、早八ヶ月余りが経過した。そろそろこちらでの研究もための段階にきており、また、年が改まったら帰国の準備をしな

ればならぬので、一度途中経過を報告する。UCLAは言うまでもなくカリフォルニア大学の本校で、サンフランシスコ湾の東岸バークレイの町の東端の傾斜地にある緑豊かな大学である。私はこのUCLAの電気工学・コンピュータ

システム工学科助教 鈴木 敏 正

国外研修滞在日記

「ベイエリアにて」



クリーンルームにて

クリーンルームにて。システム工学科鈴木敏正助教が、平成三年四月一日から一年間、国外研修のため米国カリフォルニア大学バークレイ校に滞在中です。研修を終るに先立ち、昨年十二月に滞在記をお願いしました。

「家のこと」生活の拠点となる家は、バークレイの北隣の人口約二万三千人の住宅地エルセリートの町の中心の中腹にある一軒家を借りた。家からはゴールデンゲートブリッジを望むことができる。しかし、驚いたことに我が住んでいるこの丘はあのハイウェイの断層の滑り面のすぐそばである。大きな地震の時に断層となってしまう所はうなるのだという。

「日本の情報のこと」平日は夜十一時から前日午後七時のNHKニュースが、十一時半からはNHKからの「トッパースジャパン」があり、日本場では一憂するものこの時

「現地の校・補習校のこと」我が家の三人の子供達は平日は現地の公立の小学校に通っている。また、土曜日はサンフランシスコの太平洋岸にある日本語補習校に通っている。四年生、三年生、一年生である。日本の学校教育の違いについて感じるところは多いが、それを語る紙面の余裕がない。

「最後に」家族を伴っての外国生活は、やらなければならないことが沢山あって予想



ハロウィーンに参加

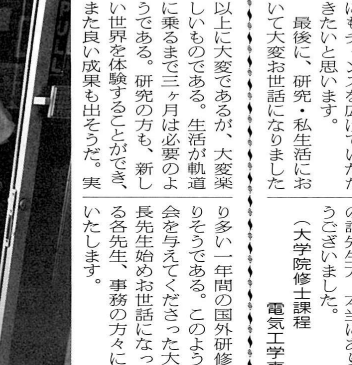
科学科バンドワザー教授の研究室で、酸化物質高温超伝導体YBCO薄膜の電気的に制御された臨界電流によるジョセフソン接合の実現と直流SQUIDへの応用というテーマで研究を行なっている。バンドワザー研究室ではYBCO薄膜をスパッタリング法で作成している。理由は、最も手軽にエピタキシャル成長膜が得られるからである。デバイス研究者は、我々材料研究者とは違った材料、およびその作成法に対する見方をしている。大学としては世界で最も早く計画されたI-C研究所であるマイクロファブリケーションラボラトリー(通称マイクロラボ)のクラス目のクリーンルームで微細加工し、デバイス特性の評価を行なっている。日本工業大学ではなかなか行なうことができないデバイス研究で毎日クリーンルームに入り、新しい世界を体験している。本学にも、デバイスを試作することのできる施設があれば、各分野の材料、デバイス研究者の大きな

「家のこと」生活の拠点となる家は、バークレイの北隣の人口約二万三千人の住宅地エルセリートの町の中心の中腹にある一軒家を借りた。家からはゴールデンゲートブリッジを望むことができる。しかし、驚いたことに我が住んでいるこの丘はあのハイウェイの断層の滑り面のすぐそばである。大きな地震の時に断層となってしまう所はうなるのだという。

「日本の情報のこと」平日は夜十一時から前日午後七時のNHKニュースが、十一時半からはNHKからの「トッパースジャパン」があり、日本場では一憂するものこの時

「現地の校・補習校のこと」我が家の三人の子供達は平日は現地の公立の小学校に通っている。また、土曜日はサンフランシスコの太平洋岸にある日本語補習校に通っている。四年生、三年生、一年生である。日本の学校教育の違いについて感じるところは多いが、それを語る紙面の余裕がない。

「最後に」家族を伴っての外国生活は、やらなければならないことが沢山あって予想



ハロウィーンに参加

University of Arkansas at Little Rock
GRADUATE INSTITUTE OF TECHNOLOGY
This is to certify that
Shuji Sasabe
has completed his Research Program on
Electrophotography
offered by the Graduate Institute of Technology
In Witness Whereof, we have issued this certificate
this First day of December 1990.
M. K. Mazumder
University Professor

修了証

「家のこと」生活の拠点となる家は、バークレイの北隣の人口約二万三千人の住宅地エルセリートの町の中心の中腹にある一軒家を借りた。家からはゴールデンゲートブリッジを望むことができる。しかし、驚いたことに我が住んでいるこの丘はあのハイウェイの断層の滑り面のすぐそばである。大きな地震の時に断層となってしまう所はうなるのだという。

「現地の校・補習校のこと」我が家の三人の子供達は平日は現地の公立の小学校に通っている。また、土曜日はサンフランシスコの太平洋岸にある日本語補習校に通っている。四年生、三年生、一年生である。日本の学校教育の違いについて感じるところは多いが、それを語る紙面の余裕がない。



ハロウィーンに参加

Hello! My name is Shuji Sasabe. アーカンソー州リトルロック空港での最初の会話でした。忘れもしない一九八

「現地の校・補習校のこと」我が家の三人の子供達は平日は現地の公立の小学校に通っている。また、土曜日はサンフランシスコの太平洋岸にある日本語補習校に通っている。四年生、三年生、一年生である。日本の学校教育の違いについて感じるところは多いが、それを語る紙面の余裕がない。

「最後に」家族を伴っての外国生活は、やらなければならないことが沢山あって予想



ハロウィーンに参加

アーカンソー大学留学記

笹 辺 修 司

「家のこと」生活の拠点となる家は、バークレイの北隣の人口約二万三千人の住宅地エルセリートの町の中心の中腹にある一軒家を借りた。家からはゴールデンゲートブリッジを望むことができる。しかし、驚いたことに我が住んでいるこの丘はあのハイウェイの断層の滑り面のすぐそばである。大きな地震の時に断層となってしまう所はうなるのだという。



ハロウィーンに参加

Dr. M. K. Mazumder 先生(中央)と

平成二年度 大学院修了は二十五名

三月二十日に大学院修士課程三専攻を修了する第八期生は二十五名で、機械工学専攻五名・電気工学専攻十六名・建築学専攻四名である。また、七面で紹介したように、大学院博士課程(後期)建築学専攻から課程博士第一号が誕生し、修士課程同様二十日に学位授与式が行われる。修了生の今後の活躍が期待される。

なお、今回の二十五名に加え、本学研究科修士課程は一八六名の修了生を産業界・教育界を中心とした各界に送り出したこととなる。

機械工学専攻

電気工学専攻

建築学専攻

新学期の日程

授業開始は4月10日

在学生

健康診断

(体育館)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月30日
- ◆4年次生 3月29日
- *健康診断は、午前九時から正午まで。
- *留年生は自分が該当する学年といっしょに健康診断を受ける。
- ◆女子学生 4月1日
- *14時に体育館集合。健康診断後に学生証交付を受ける。

学生証の交付

(232教室)

- ◆2年次生 4月1日
- ◆3年次生 3月30日
- ◆4年次生 3月29日
- *健康診断が終わってから、16時までに交付を受ける。
- オリエンテーション
- (含成績表・授業時間割・履修申告用紙等配布)
- ◆2年次生(留年生含む) 4月8日
- ◆3年次生(留年生含む) 4月8日
- ◆4年次生(留年生含む) 4月6日

入学式

(体育館)

- Aコース(二二教室)
- Bコース(二三教室)
- Cコース(二三教室)
- 【電気電子】9時20分(三四教室)
- 【建築】9時20分(三四教室)
- 【システム】9時20分(四〇二教室)
- ※就職オリエンテーション
- 4月5日13時より四〇二教室(なお当日は、学便覧持参のこと)
- ◆3年次生(留年生含む) 4月8日
- ◆4年次生(留年生含む) 4月6日

大学院生

在学生

- ◆3月29日
- ◎学生証交付
- ◎履修申告等の配布
- ◎健康診断
- ◎女子学生・在学生・新入生
- ◆4月2日
- ◎健康診断
- ◎学生証交付
- ◎入学式
- ◎全体オリエンテーション・履修申告用紙・時間割等配布
- ◆4月5日
- ◎専攻別オリエンテーション
- 【機】14時(三二一教室)
- 【電】14時(三二一教室)
- 【建】15時30分(二二二二教室)
- ※博士課程後期入学者は指導教授の指示に従う。

☆ ☆ ☆

平成二年度

主な就職先

工学部

- 【建設工事】 戸田建設 中野組 日産建設 不動建設 前田建設工業 松井建設 三井木材工業 松井建設工業
- 【設備工事】 きんでん 協和電設 住友電設 東芝プラント建設 東北電気工事 日本電設工業
- 【非鉄金属製品】 沖電線 第一電工 同和金属工業 同和鋳業 藤倉電線
- 【金属製品】 三和シャッター工業
- 【建設工事】 浅川組 浅沼組 植木組 エス・バイ・エル 大木建設 北野建設 大下工務店 熊谷組 鴻池組 五洋建設 佐田建設 二兎金属工業 三和ホーム 清水建設 住友建設 住友林業 積水ハウス 大成建設 大成プレハブ 丹靑社 大木建設 大東建設 大和ハウス工業 東海興業

- 東洋エクステリア 文化シャッター
- 【一般機械器具】 SMC グローリー工業 小松製作所 新晃工業 住友重機械工業 ツガミ T H K
- 日特エンジニアリング ハニックス工業 パブコック日立 牧野フレイズ製作所 三田工業 ヤマサキザック
- 【電気機械器具】 アイワ アスモ アドバンテス アマダメトレックス アルプス電気 安藤電気 岩崎電気 カシオ計算機 クラリオン ケンウッド 国際電気 サンケン電気
- 三洋電機 新川 新電元工業 新日本無線 スタンレー電気 セイコーエプソン タムラ製作所 東光 ナカミチ 日本コロムビア 日本シイエムケイ 日本デキマス インスツルメンツ 日本ディジタル イクシップメント 日本電気精器 日本無線 日本モトローラ 日立工機 日立製作所 富士通電機 富士通ゼネラル 富士電機 双葉電子工業 ホリチキ ミツミ電機 明星電気 明電舎 山一電機 コニデン
- 【精密機械器具】 エー・アンド・ディ オーバル機器工業 コレバ

大学院

- 【自動車販売業】 東京トヨペット 日産プリンス埼玉販売 日産プリンス東京販売
- 【輸送用機器】 アイシン精機 関東自動車工業 関東精器 京三電機 小松フォークリフト 自動車機器 東京濾器 栃木富士産業 日産ディーゼル工業 本田技研工業 三ツ葉電機製作所
- 【その他の製造】 クラレ サウエル工業 セガ・エンタープライゼス 大日本インキ化学工業 東京製鋼 日本イオン工業 パイロテック 持田製薬 横浜ゴム リンテック
- 【卸売業】 大塚商会 キヤノン販売 東芝情報機器 日本オリエント 日本ユニシス 山善 リョーサン
- 【不動産業】 カフテックコム スターツ ダイワ建設 飛栄産業
- 【運輸業】 東海旅客鉄道
- 【通信・報道業】 日本電信電話(N T T) 【電力・ガス・水道業】 東京電力
- 【情報産業】 エスエスアンドアイ
- 【システムサービス】 システムサービス
- 【鉄鋼業】 川崎製鉄
- 【電気機械器具】 東芝 東洋電装 松下電器産業 新日本無線 日本電気
- 【非鉄金属製品】 アイシーマイコンシステム
- 【鉄金製品】 三菱マテリアル 同和鋳業
- 【その他】 日立フットウェア エンジニアリング メイテック
- 【その他】 (財)ベタリーピング

サウジアラビアより 研修生

国際協力事業団の要請によりサウジアラビアから研修生五名が来学。本年一月八日から三月七日の二ヵ月間にわたり研修を行った。研修生は現在工業推進政策がとられており、それに伴い技術者の需要が急増している。特に電気・電子・通信の分野においては、将来にわたって大幅な技術者の需要が見込まれるため、日本政府の協力により、サウジアラビアに電子技術者を派遣し、研修生を育成しようとする。今回の研修生は、このプロジェクトへの日本政府の協力の一環として行われたものである。

研修生はシステム工学科主任 任石川教授を初めとした本学教員が、それぞれ一名ずつ指導にあたった。期間中湾岸戦争が地上戦に突入し、研修生の一人のガリ氏の兄の死の戦い戦況が報じられ、死に届いたが、研修生は所定の研修を成功裡に修了した。

